

様式 F - 7 - 1

科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）実施状況報告書（研究実施状況報告書）（平成29年度）

所属研究機関名称		大妻女子大学	機関番号	32604
研究 代表者	部局	人間関係学部		
	職	教授		
	氏名	福島 哲夫		

1. 研究種目名 基盤研究(C)(一般) 2. 課題番号 17K04447

3. 研究課題名 スーパーヴァイザー養成のためのメタ・スーパーヴィジョンに関する研究

4. 補助事業期間 平成29年度～平成31年度

## 5. 研究実績の概要

スーパーヴィジョンやメタスーパーヴィジョンに関する文献や先行研究を整理し、それをまもなく行われる初めての心理職の国家試験である「公認心理師」資格試験のための「公認心理士必携テキスト」の中に丁寧に紹介した。  
さらに感情体験を深めるタイプの心理療法の代表であるAEDP（加速化体験力動療法）に関する個人スーパーヴィジョン、グループスーパーヴィジョン実践体験を重ねた。それはら新しいタイプのスーパーヴィジョンとそのメタ・スーパーヴィジョンの可能性を探ることにつながり、すでに行われている我が国の一般的なスーパーヴィジョンをより良いものにするための大きな示唆となった。  
上記の体験から得たものは、日本心理臨床学会第36回大会でもライブ・スーパーヴィジョンを含む口頭発表として結実した。  
また、それらと並行して実際のメタ・スーパーヴィジョンを2組のヴァイザー・ヴァイザーと継続的に実施し、かなりの効果を実感しているところである。客観的な効果に関しては、質問紙と自由記述アンケートを実施しながら、その効果を分析しているところである。  
現在までに得られている実感としては、メタ・スーパーヴィジョンは単にスーパーヴィジョンのための研修にとどまらず、ヴァイザーである心理士の訓練の最終仕上げ段階に相当するということである。そして、それははからずも教育分析（訓練分析・教育カウンセリング）のテーマを引き継ぎつつ、より実践的に取り組む形になっている。

## 6. キーワード

メタ・スーパーヴィジョン スーパーヴァイザー スーパーヴァイザー スーパーヴィジョン作業同盟 カウンセラー自己効力感

## 7. 現在までの進捗状況

区分 (2) おおむね順調に進展している。  
理由  
理論研究、実践研究ともに順調に進んでいるため。

2 版

## 8. 今後の研究の推進方策

今後さらに実践例を増やして、定量的データと定性的(質的)データを増やすことで、そこから得られる知見の一般性を高めたい。また、現在までに得られている実感としては、メタ・スーパーヴィジョンは単にスーパーヴィジョンのための研修にとどまらず、ヴァイザーである心理士の訓練の最終仕上げ段階に相当するということである。そして、それははからずも教育分析(訓練分析・教育カウンセリング)のテーマを引き継ぎつつ、より実践的に取り組む形になっている。そのため、これらを十分に意識し、「心理士の成長発達」や「心理士の職業的ライフサイクル」という、長期的な視点を持ったメタ・スーパーヴィジョンの実践を重ねていくことで、より質の高い実践研究として進めていくことができる可能性があるとともに、その必要性がある。

## 9. 次年度使用が生じた理由と使用計画

研究初年度であり、国際学会において発表すべき成果がなかったので、交際学会参加を見送ったため。

## 10. 研究発表(平成29年度の研究成果)

〔雑誌論文〕 計1件(うち査読付論文 0件/うち国際共著 0件/うちオープンアクセス 0件)

1. 著者名 福島哲夫	4. 巻 17巻1号
2. 論文標題 カウンセラーのセルフケアと自己点検をどう進めるか?	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 臨床心理学	6. 最初と最後の頁 87 - 89
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計3件(うち招待講演 0件/うち国際学会 0件)

1. 発表者名 上遠文恵・花川ゆう子・福島哲夫
2. 発表標題 愛着トラウマを癒すAEDP(加速化体験力動療法) - SV・GSVを含めた、臨床ビデオを用いた事例研究 -
3. 学会等名 日本心理臨床学会第36回大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 竹下亜美・福島哲夫
2. 発表標題 初心者セラピストの共感疲労についての研究 初心者セラピスト6名へのインタビューから
3. 学会等名 日本心理臨床学会第36回大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 福島哲夫
2. 発表標題 様々な心理療法に生きるコミュニティ心理学 - コング心理学の立場から
3. 学会等名 日本コミュニティ心理学会第20回記念大会シンポジウム
4. 発表年 2017年

## 〔図書〕 計2件

1. 著者名 福島哲夫他	4. 発行年 2018年
2. 出版社 学研メディカル秀潤社	5. 総ページ数 631
3. 書名 公認心理師必携テキスト	

1. 著者名 杉原保史・福島哲夫・東 育彰	4. 発行年 2018年
2. 出版社 北大路書房	5. 総ページ数 215
3. 書名 心理学的支援法	

## 11. 研究成果による産業財産権の出願・取得状況

計0件（うち出願0件／うち取得0件）

【研究代表者・所属研究機関控】

日本学術振興会に紙媒体で提出する必要はありません。

2 版

1 2 . 科研費を使用して開催した国際研究集会

計0件

1 3 . 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

-

1 4 . 備考

-